

目標～地域のまちの姿～

- 地域の軸となる主要な道路整備を通じて、誰もが安全で快適に移動でき、災害時に延焼遮断や延焼遅延、避難路確保等が可能な災害に強いまち
- 農地や屋敷林の保全と、公園等の整備や民有地の緑化を進め、無秩序な市街地開発を抑制した、武蔵野の面影が残るまち
- 大規模な住宅団地の建て替えなどに際し、自然環境と調和した道路や公園、公共公益施設等の整備を進め、新たなコミュニティの拠点を創出していく住みやすいまち
- 烏山寺町のたたずまい、蘆花恒春園、文学館などを核とした歴史と文化、風土が調和した魅力あるまち
- 京王線連続立体交差事業や周辺道路の整備などを通じて、南北の交流と人びとが集う魅力あふれるまち

地域の骨格プランと土地利用の方針 (45ページを参照)

- 『地区生活拠点』として、上北沢駅、八幡山駅、芦花公園駅の各周辺地区を位置づけます。
- 土地利用の方針では、7つに区分した土地利用の位置を概略で示します。

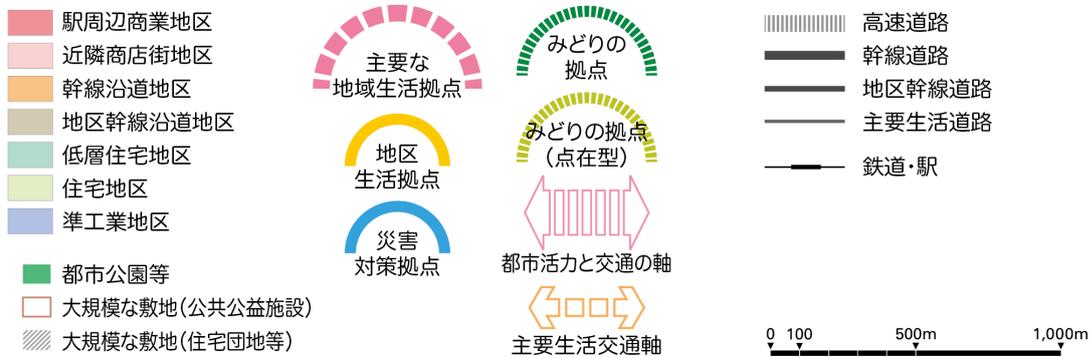
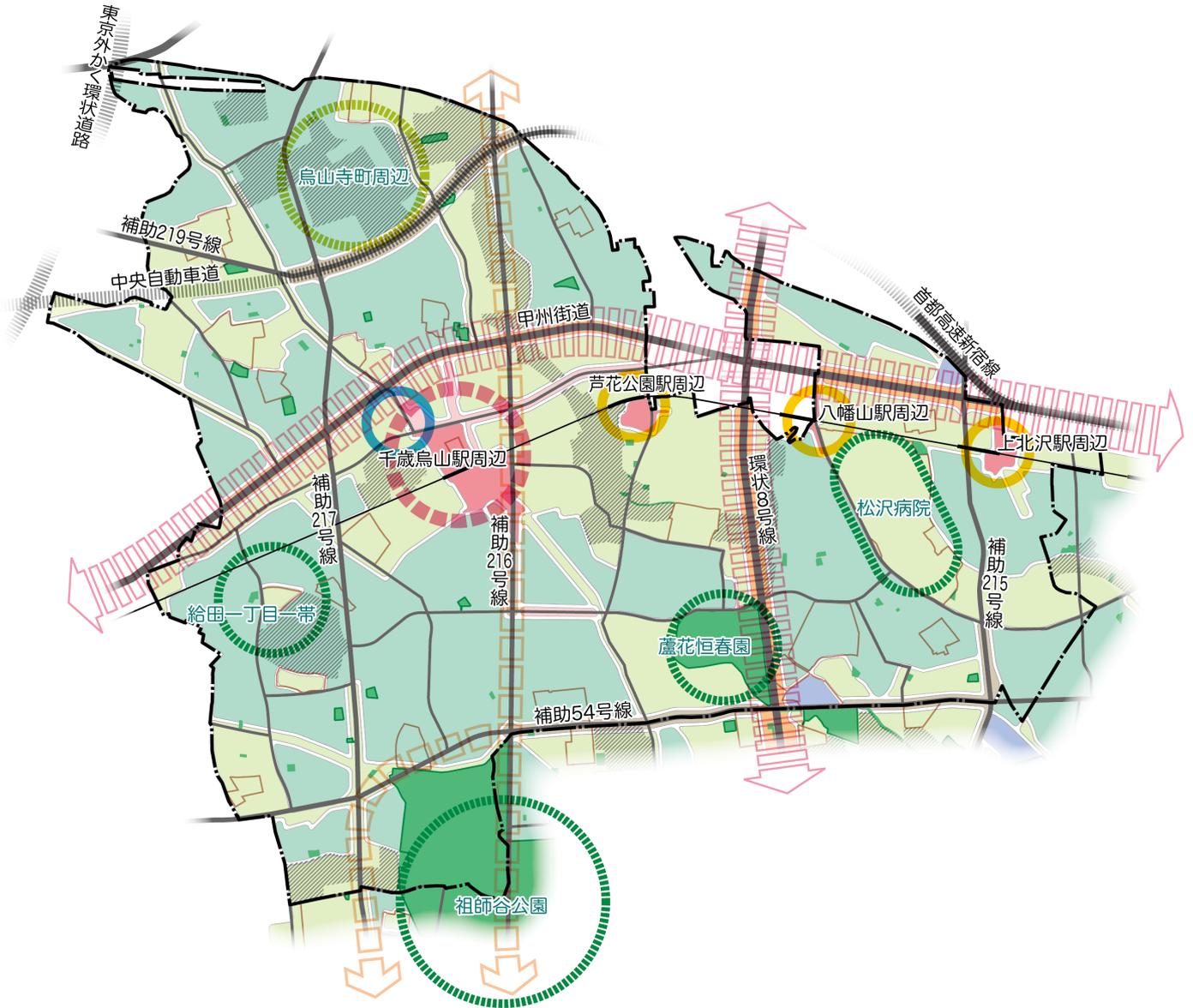
地域のテーマ別の方針 (46ページを参照)

テーマⅠ	安全で災害に強いまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●延焼遮断帯や延焼遅延帯の整備を進める ●計画的に地先道路の整備を進める ●地区内の安全性を向上させる
テーマⅡ	みどり豊かで住みやすいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●みどりを守り育てる ●武蔵野の面影を残す住みやすい住環境を確保する
テーマⅢ	活動・交流の拠点をもちまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●区の北西部を支えるにぎわいとコミュニティの中心となるまちをつくる ●京王線沿線各駅で、にぎわいや活気のある拠点の魅力を高める
テーマⅣ	地域資源の魅力を高めるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●風景の魅力を高める ●地域資源を活用する
テーマⅤ	誰もが快適に移動できるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ●地区の生活道路の整ったまちをつくる ●誰もが安全・快適に利用できる交通基盤とする

アクションエリアの方針 (47ページを参照)

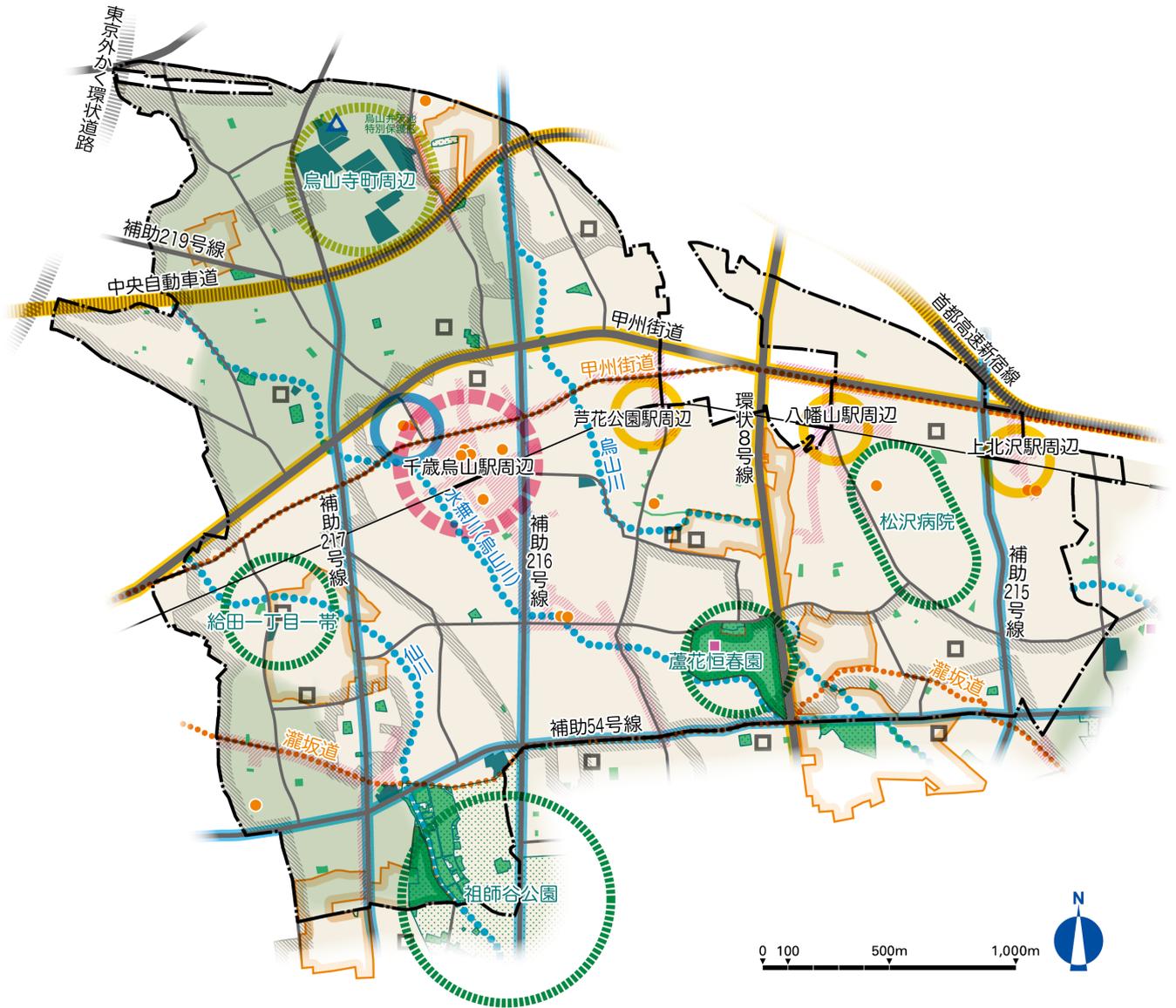
- 5-①～5-⑩は、地区計画などを策定し、街づくりを進めていく地区（一部、地区計画や地区街づくり計画などが策定されている地区を含む）です。
- 5-⑪～5-⑳は、既に策定された地区計画などに基づき、街づくりを進めていく地区です。

烏山地域の骨格と土地利用の方針図



大規模な土地利用転換の際は、都市基盤整備を進めるとともに、地区の特性や周辺住宅地と調和した土地利用を誘導する。

烏山地域のテーマ別の方針図



テーマⅠ

- 骨格防災軸
- 延焼遮断帯
- 広域避難場所
- 避難所(区立小・中)
- 災害対策拠点

テーマⅡ

- 都市計画公園・緑地
- 既存都市公園等
- 緑化地域(市街化区域全域)
- 水辺再生事業・構想重点整備区域
- 農地保全重点地区
- 土地区画整理事業を施行すべき区域(未施行区域)

テーマⅢ

- 主要な地域生活拠点
- 地区生活拠点
- みどりの拠点
- みどりの拠点(点在型)

テーマⅣ

- 景観計画区域(区全域)
- 特別保護区
- 1,000㎡以上の樹林地が敷地内にある寺社等
- 文化財^(注)
- 水辺や緑道等
- 古道など

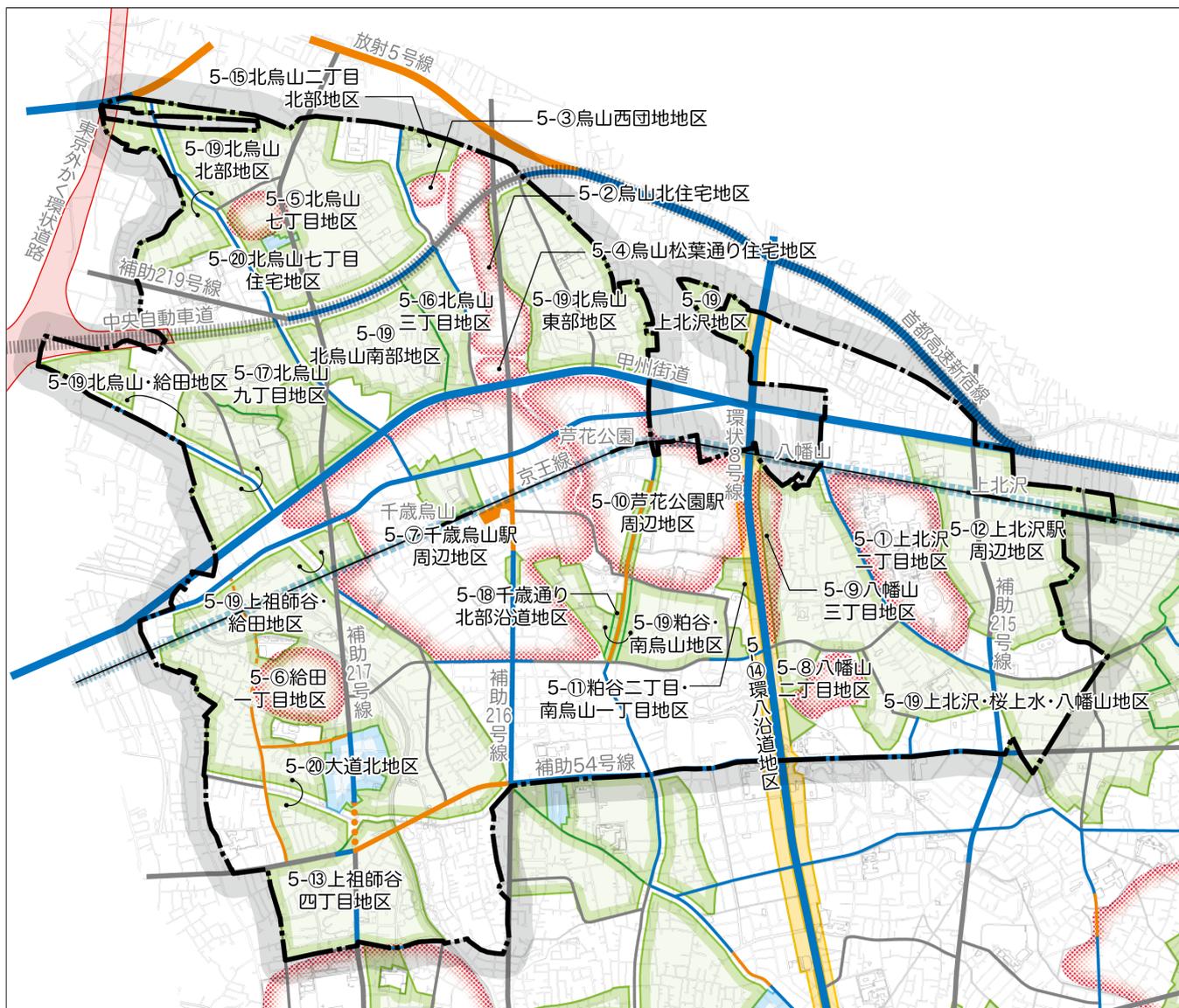
テーマⅤ

- 鉄道・駅
- 高速道路
- 幹線道路
- 地区幹線道路
- 主要生活道路
- ユニバーサルデザインによる整備(区全域)

- 商店街(平成25年3月現在)
- 主要な公共施設(出張所、図書館、区民会館など)

(注)ここで示す文化財は、国・都・区が指定及び登録した有形文化財(文化財保護法等)および都選定歴史的建造物等(都景観条例)のうち、建造物など一般の目に触れるものとする。

烏山地域のアクションエリア



この地図は、「世田谷区白地図データベース」を使用して作成したものです。世田谷区白地図データベースの著作権は、国際航業(株)に帰属します。

アクションエリア

*概ねの範囲を示している

地区計画などを策定し、街づくりを進めていく地区* (一部、地区計画や地区街づくり計画などが策定されている地区を含む)		
既に策定された地区計画などに基づき、街づくりを進めていく地区	地区計画や地区街づくり計画などが策定されている地区	
	沿道地区計画が策定されている地区	
	土地区画整理事業が完了した区域で、地区計画が策定されている地区	

アクションエリア以外の地区についても、街づくりの気運の高まりなどに応じて、新たに街づくりの検討を行う。

都市計画道路・主要生活道路の整備状況

幹線道路	地区幹線道路	主要生活道路	整備済・概成

*特に早期整備が望ましい路線

高速道路の整備状況

	整備済
	事業中

都市高速鉄道の整備状況

	整備済
	事業中
	未整備

— 鉄道・駅

0 100 500m 1,000m

